

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05713	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	組織幹細胞におけるゲノム安定性の制御	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	藤堂 剛 (大阪大学・大学院医学系研究科・教授)

【平成30年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、変異原の発がんへの寄与を評価するゲノム変異検出系を組織幹細胞に適用して解析する系を確立することを目的としている。</p> <p>これまでに、(1)次世代DNAシーケンサー(NGS)による変異解析系の確立、(2)損傷応答に関する遺伝子変異体の作製と表現型解析、(3)病理学的検出系の確立、(4)体組織幹細胞標識系の確立、(5)メダカで得られた結果のヒトへの外挿系の確立の5つのステップで研究を進めてきた。</p> <p>その結果、化学発がん系は予定通り進捗していることに加え、大腸がんの自然発がん系を構築するという想定外の重要な成果が得られている。</p> <p>しかしながら、(3)については個体レベルで紫外線誘発皮膚がん系の作製に至っていないため、今後の進展を期待する。</p>		